

証券コード 3201

平成24年11月期(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

## ニッケグループ決算説明資料

当期の連結業績は、売上高97,357百万円、営業利益5,337百万円、  
経常利益5,401百万円、当期純利益3,261百万円となりました。



“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、  
わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

<http://www.nikke.co.jp>

1

## 目次-Contents-

1. ニッケグループの経営理念・経営方針
2. 連結業績の概要について
3. 連結業績の概要について(対予想比)
4. ～9. 各セグメント概要について
10. セグメント別売上げ割合の推移
11. 連結B/S
12. 連結C/Fの推移
13. 自己資本比率・ROA・ROEの推移
14. 設備投資・減価償却費の推移
15. 連結有利子負債の推移
16. 6事業部制から4事業部制への転換
17. 次期連結業績予想
18. ～21. 各セグメントの次期予想と取組み
22. NN120ビジョンの達成に向けて
23. 株主還元方針
24. 過去20年の配当額の推移
25. ニッケの魅力と強みについて

2

## 1. ニッケグループの経営理念・経営方針

### 経営理念

“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

- ウールで培った技術の追求と環境への配慮により、新しい価値を創造します。
- 心を込めて人間家族や地域社会に貢献し、たしかな生活文化を創造します。

### 経営方針

- 社員の幸せを追求し、希望と生きがいの持てる企業グループを目指します。
- 企業価値の最大化を通して、顧客や株主との永続的な信頼関係を築きます。
- 研究開発を強化し、品質と感性・革新性に根ざしたNo.1の商品とサービスを提供します。
- 変化をチャンスと捉え、既存事業の改革と新規事業の開拓に挑戦します。
- 人材開発を重視し、各分野におけるプロフェッショナルとして行動します。

- 起業の原点であるウールの持つ「やさしく、あったかい」をニッケグループの企業イメージとして捉え、人々にものと心の豊かさを提供し、地球環境と調和することを経営理念と致します。
- 「繊維」「非繊維」の意識を撤廃し、ニッケグループを共通の経営理念・経営方針で統一された事業複合体と考え、さまざまな分野でお客様に満足頂ける商品やサービスを提供して参ります。
- 経営理念に裏打ちされた事業の成長を通じて、企業価値を持続的に高めて参ります。このために、グループ社員の一人ひとりが主役となって、情熱と誇りを持ち、夢を実現できる企業風土を具現化して行きます。

3

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指す 

## I. 第182期(2012年11月期)実績

4

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指す 

## 第182期における生産性向上に向けた取組み

### ●積極的なM&A、新規事業展開

- ◆南海毛糸紡績(株)やミシェル南海マレーシアとのM&Aを実施
- ◆介護事業やビデオレンタル事業における拠点数の拡大
- ◆土山ゴルフコースをメガソーラーへの転用



### ●不採算事業の撤退・事業の入替え

電源計測器事業とペット事業を他社に譲渡



### ●年金財政の健全化

退職給付信託を解約し、未認識数理差異（不利差異）の一括償却を実施

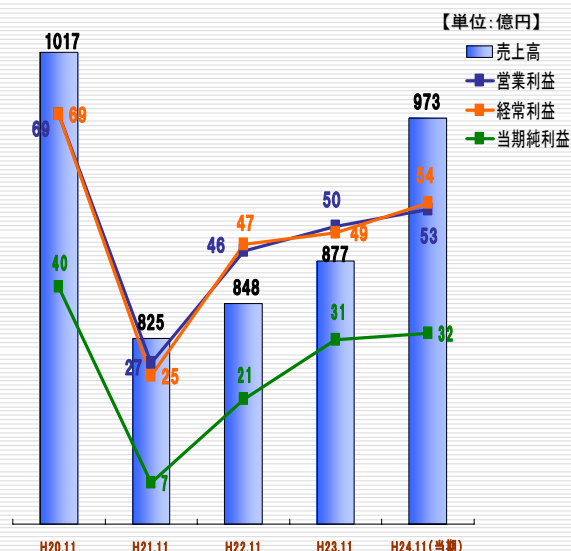
## 2. 連結業績の概要について

衣料繊維・資材が原料高により減損も他事業の健闘により増収増益決算に

- 売上高 : 973億円 (11.1%増)
- 売上原価 : 748億円 (12.6%増)
- 販管費 : 171億円 (6.4%増)
- 営業利益 : 53億円 (5.6%増)
- 経常利益 : 54億円 (9.3%増)
- 当期純利益 : 32億円 (5.1%増)

- ROE : 4.71%
- ROA : 2.77%

- ◆売上の状況  
資材事業以外の5事業で増収となり、全体で増収となりました。
- ◆利益の状況  
衣料繊維事業・資材事業が原料高から減損となるも、エンジニアリング事業、開発事業、コミュニティサービス事業、生活流通事業の増益がカバーし、全体で増益となりました。



### 3. 連結業績の概要について（対予想比）

#### 営業利益以外の項目で通期予想を上回る

	H24.10.10付 業績予想 (単位：百万円)	H24.11期 実績 (単位：百万円)	増減
			(単位：百万円)
売上高	96,000	97,357	+1,357 (101.4%)
営業利益	5,500	5,337	▲163 (97.1%)
経常利益	5,400	5,401	+1 (100.0%)
当期純利益	3,000	3,261	+261 (108.7%)

括弧内は計画達成進捗割合

- 営業利益は衣料繊維事業と資材事業の原料高が響き2億円弱の未達に。
- 経常利益は、為替差益の発生や金融収支の改善等により営業外収益が上振れし予想通りに。
- 当期純利益は、構造改善費用等の減少により特別損益が改善したことにより3億円弱の上振れ。

7

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指す 

### 5. セグメント別業績の概要について

#### エンジニアリング事業、生活流通事業で大幅な収益改善

		H23.11実績	H24.11実績	増減	増減 (%)
衣料繊維事業	売上高	39,387	42,022	2,635	6.7%
	営業利益	2,294	1,799	-495	-21.6%
資材事業	売上高	13,585	13,449	-136	-1.0%
	営業利益	417	228	-189	-45.3%
エンジニアリング事業	売上高	5,304	6,980	1,676	31.6%
	営業利益	5	473	468	9360.0%
開発事業	売上高	7,683	8,675	992	12.9%
	営業利益	3,332	3,521	189	5.7%
コミュニティサービス事業	売上高	16,386	19,748	3,362	20.5%
	営業利益	477	550	73	15.3%
生活流通事業	売上高	5,312	6,480	1,168	22.0%
	営業利益	46	228	182	395.7%

8

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指す 

## 4. 衣料繊維事業の概況について

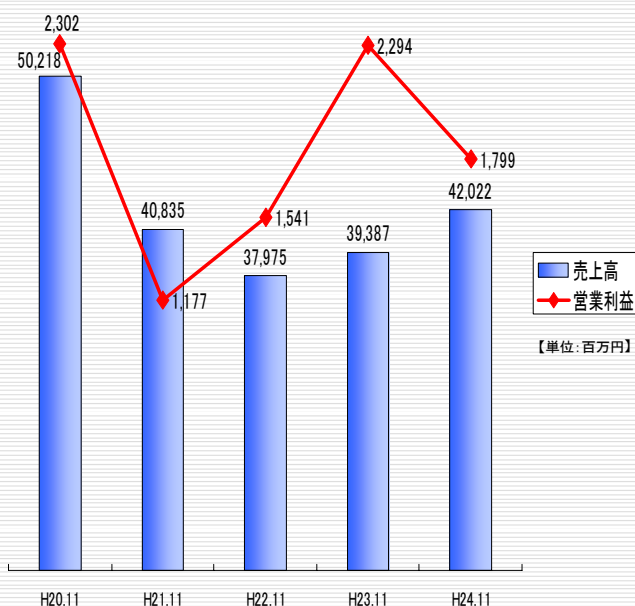
### 概況ダイジェスト

#### 【売上げ】

売糸は原毛相場下落と国内市況の悪化により販売数量が減少し微減収◆**学校向け制服素材**は流通段階の在庫調整が一巡したこともあり入学商戦および夏物の受注が順調に推移。さらに来年度向け早期備蓄も順調に推移し増収◆**官公庁向け制服素材**は予算削減という厳しい環境のもと官公庁の年度末に向けた受注が好調であったことに加え、価格改定前の出荷が旺盛で増収◆**一般企業向け制服素材**は百貨店店服、金融関係などの大口物件受注により前期並み◆**一般衣料向け素材**は、メンズ向け素材においてはメイド・イン・ジャパンの高品質、高機能素材の拡販により増収も、製品およびレディース向け素材の減少により全体では減収◆**海外向け素材**は欧州経済危機の影響を強く受け欧州からの受注は低調に推移も北米向けは販売先との関係性深化に努めたことで好調に推移し前期並み

#### 【利益】

利益面については、一昨年からの急激な原毛相場変動の影響を強く受け大幅な減益。



9

## 5. 資材事業の概況について

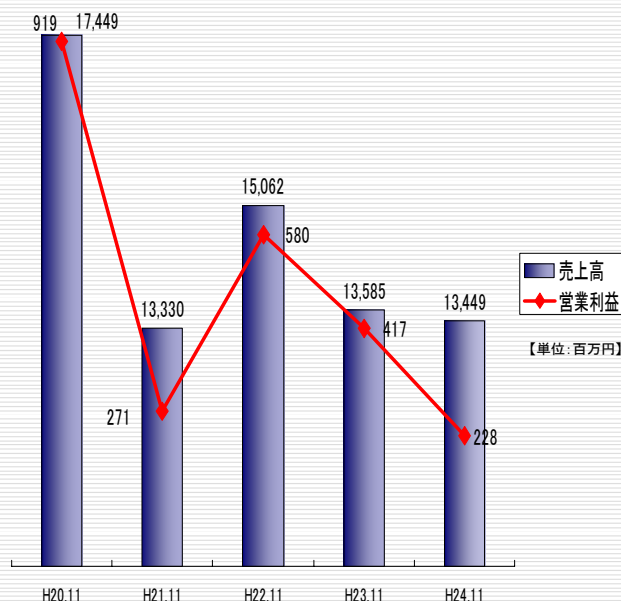
### 概況ダイジェスト

#### 【売上げ】

**産業用資材**は、前期より楽器向けにおいて好調であったフェルトは、後半にかけてやや軟調。不織布は自動車向けが堅調に推移も、OA関連・液晶テレビ向けが軟調に推移。糸・紐は自動車関連の増産効果が大きく順調に推移。結果、産業用資材全体では微増収◆**カーペット**は家庭用途向けは概ね計画通り推移も、業務用途向けは厳しい状況が続く減収◆**生活用資材**のうちラケットスポーツ用品は、前期後半からの緩やかな回復基調の中でガット関係は微増収。ラケット関係については特に海外向けの不振が影響し減収。釣糸は海外OEMが不振も新製品の健闘で国内販売が増収。結果、生活用資材全体では微減収。

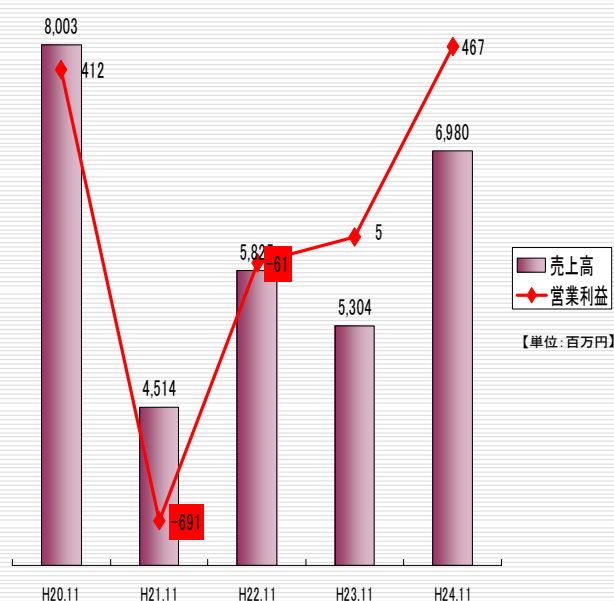
#### 【利益】

利益面については、自動車分野で粗利率の高い商品が減収になったことや、不織布の販売不振、原料価格のコスト高による影響が大きく減益。



10

## 6. エンジニアリング事業の概況について



### 概況ダイジェスト

#### 【売上げ】

産業向け機械および制御装置は、車載品や二次電池製造関連設備の受注・売上が好調に推移し大幅な増収◆電源・計測器は、家電メーカーなどの環境が厳しく、また期中に事業譲渡による不採算部門の再編を行ったことにより減収◆画像検査機は、海外需要の開拓に努めたが、収益を押し上げるには至らず減収。

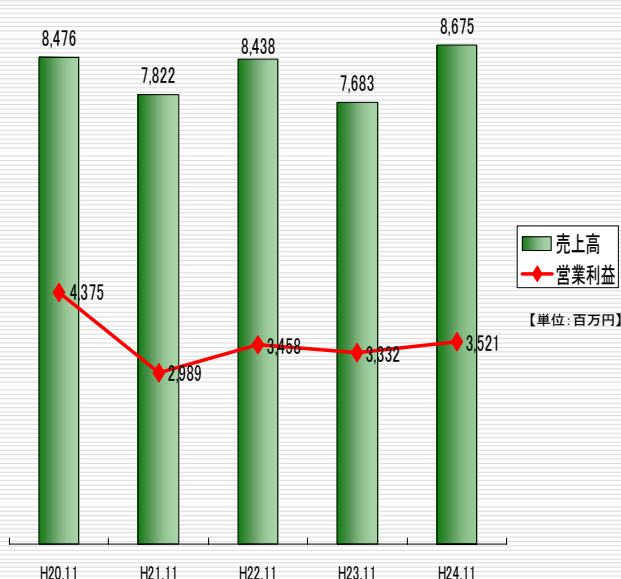
#### 【利益】

利益面については、売上増および電源計測器部門合理化効果により増益。



11

## 7. 開発事業の概況について



### 概況ダイジェスト

#### 【売上げ】

商業施設運営事業は、「ニッケコルトンプラザ」(千葉県市川市)が、後半に気候の影響で苦戦したもののシネマへの来場者の増加に伴い集客が好調に転じたこと、および「ニッケパークタウン」(兵庫県加古川市)における空き区画への新テナント誘致などにより微増収◆今期より注力しているPM(プロパティマネジメント)事業の新規受託については、愛知県で1件内定しており、今春から始動◆不動産事業は、賃貸部門では依然として既存テナントの撤退および賃料引下げ要請などの影響を受けるも、宅地分譲事業による引渡しがあり増収

#### 【利益】

利益面については、商業施設における集客の改善、空き区画へのテナント誘致、不動産事業における宅地分譲における引渡しの効果、外注費・保険料・修繕費の削減等により増益。



12

## 8. コミュニティサービス事業の概況について

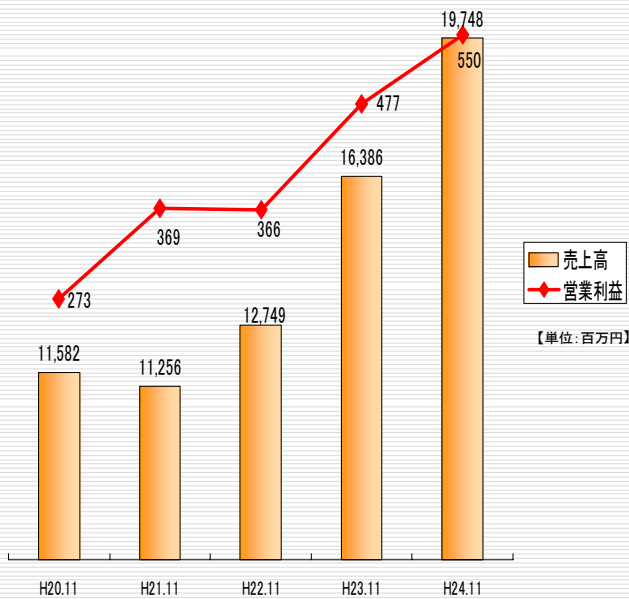
### 概況ダイジェスト

#### 【売上げ】

◆**スポーツ事業**は インドアテニススクールにおいてH22に開校した「ニッケテニスドーム小豆沢」(東京都板橋区)の運営が軌道に乗り、また全期間で売上に寄与したことや利用者・入場者数が増加したことにより増収◆**介護事業**はデイサービス事業・小規模居宅介護事業ともに利用者が順調に伸びたことに加え、「ニッケ介護村」(愛知県一宮市)を中心に積極的な拠点拡大を行い、これらが収益に寄与し増収◆**アミューズメント事業**は個人消費の冷込みが厳しいなか店舗コンセプトやメニューの見直しなどが奏功し増収◆**携帯電話販売事業**はスマートフォン市場の急速な拡大と新規出店などから販売台数が伸びたことにより増収◆**キッズランド事業**は一昨年7月にオープンした「ニッケピュアハートキッズランド・アルパーク広島」(広島市西区)に加え、既存2施設も集客を伸ばしたことにより、増収◆**その他新規事業**はビデオレンタル事業にて一昨年12月に新たに7店舗が加わったことにより増収

#### 【利益】

「ニッケテニスドーム小豆沢」の運営が軌道に乗り利益を上げていること、通信事業における積極的な店舗展開とスマートフォン市場の活性化による収益の増大などによりコミュニティサービス事業全体では増益。



13

## 9. 生活流通事業の概況について

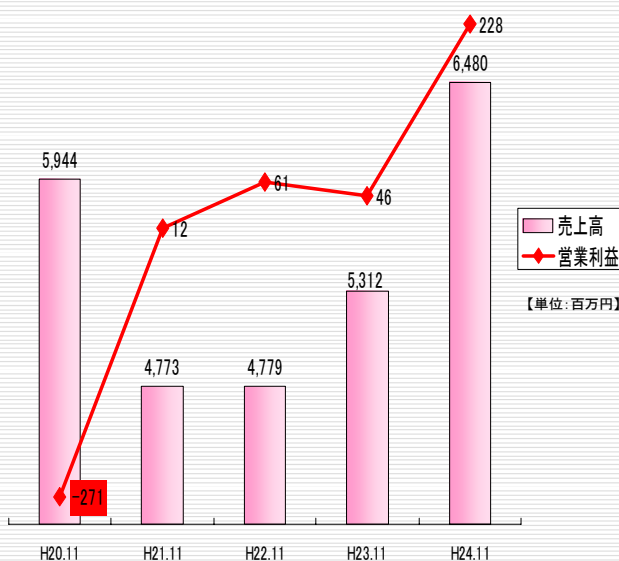
### 概況ダイジェスト

#### 【売上げ】

**寝装品**はギフト市場においては仏事市場の更なる縮小により前期実績を大きく割り込むも一般寝装品は前期並みに推移。業務用ルートにおいては自治体・各企業などで災害に備える意識が高まった影響から災害用備蓄毛布が好調で、全体としては大幅な増収◆**イージーオーダー**は外販が好調もアルファニッケ神戸店の閉店により減収◆**手織毛糸**は、教室・講習会向け販売の低迷に春夏物毛糸の不振が重なり減収◆**馬具・乗馬用品**は在庫政策によって販売の機会損失を抑えたことが奏功し増収◆**社交ダンス用ドレスのレンタル・販売**は、昨年3月からの新規事業であり収益に寄与◆**貿易代行業務**は主力品目の注文が減少し大幅な減収◆**ペットフード**は価格競争の激化に加え主力ホームセンターでの取扱いが減少したことなどにより減収

#### 【利益】

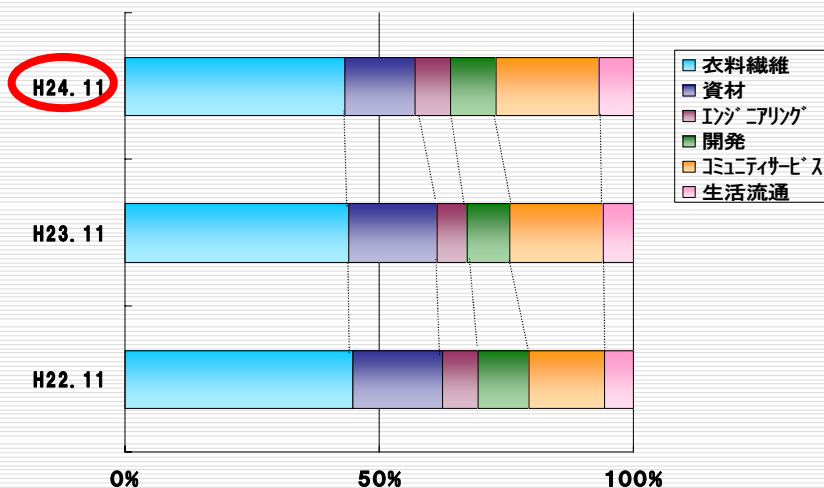
災害用備蓄毛布の特需や昨年グループ化した生活雑貨卸の㈱栄栄等の健闘により生活流通事業全体では増益。



14

## 10.セグメント別売上げ割合の推移

エンジニアリング、コミュニティ、生活流通で売上げ拡大傾向



開発事業が安定しており、また介護施設やFC店舗の開設など新規事業への展開を積極的に進めているコミュニティサービス事業の売上げ拡大が顕著となっている。また、黒字転換したエンジニアリング事業や生活流通事業が業績回復の傾向に。

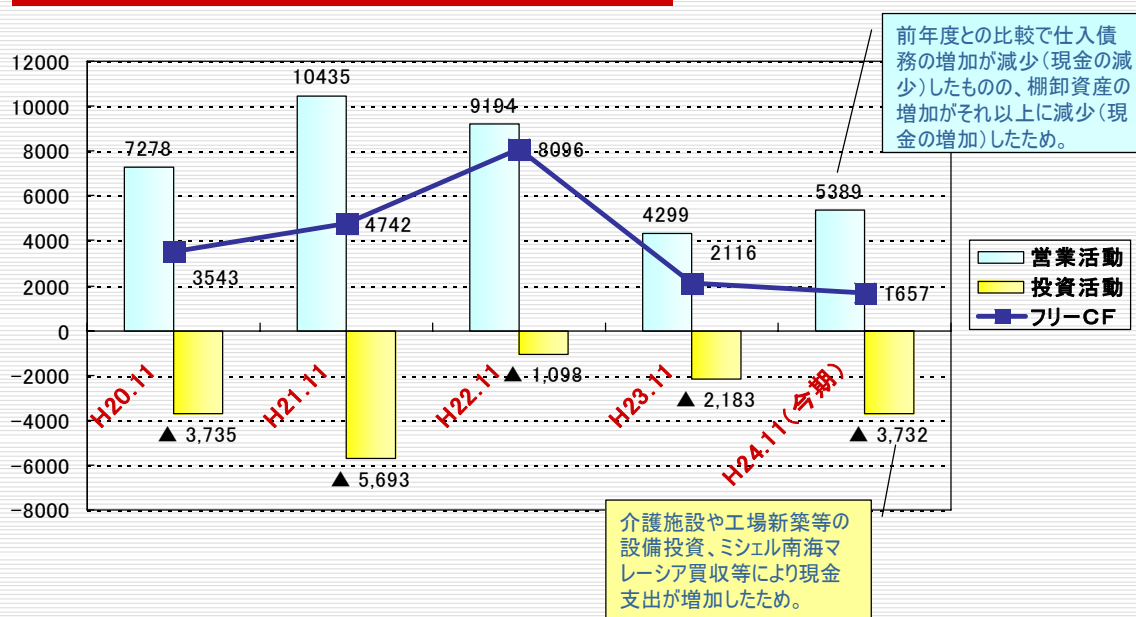
## 11.連結B/S (単位：百万円)

【単位：百万円】

	H24.11	H23.11
<b>資産合計</b>	<b>117,792</b>	<b>111,392</b>
流動資産	65,215	58,940
固定資産	52,577	52,452
有形固定資産	33,973	33,905
無形固定資産	661	489
投資その他の資産	17,942	18,057
<b>負債合計</b>	<b>47,746</b>	<b>43,750</b>
流動負債	30,126	30,615
固定負債	17,619	13,135
<b>純資産合計</b>	<b>70,046</b>	<b>67,642</b>
株主資本	68,867	67,037
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	4,543	4,544
利益剰余金	65,432	63,542
自己株式	▲7,574	▲7,514
評価・換算差額等	343	▲248
少数株主持分	835	853
<b>負債・純資産合計</b>	<b>117,792</b>	<b>111,392</b>



## 12. 連結C/Fの推移 (単位：百万円)



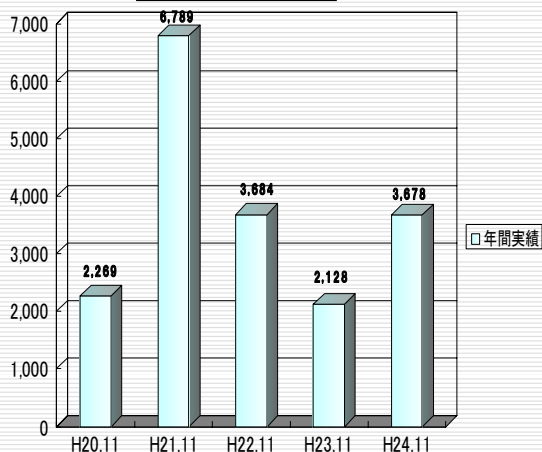
## 13. 自己資本比率・ROA・ROEの推移

	H20.11実績	H21.11実績	H22.11実績	H23.11実績	H24.11実績
自己資本比率	55.70%	58.90%	60.40%	60.00%	58.80%
ROA (総資産利益率)	3.05%	0.65%	1.87%	2.78%	2.77%
ROE (自己資本利益率)	5.49%	1.14%	3.13%	4.64%	4.71%

## 14.設備投資・減価償却費の推移

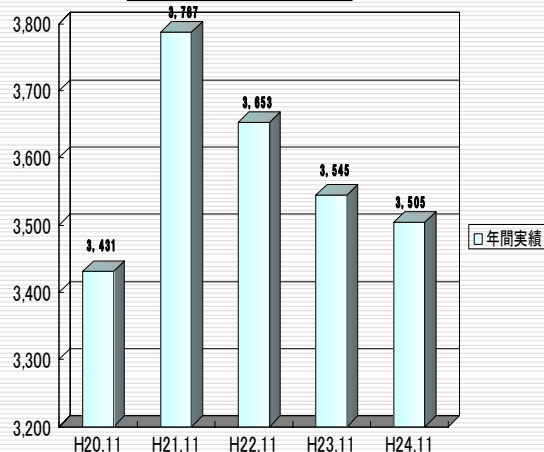
【単位:百万円】

設備投資の推移



【単位:百万円】

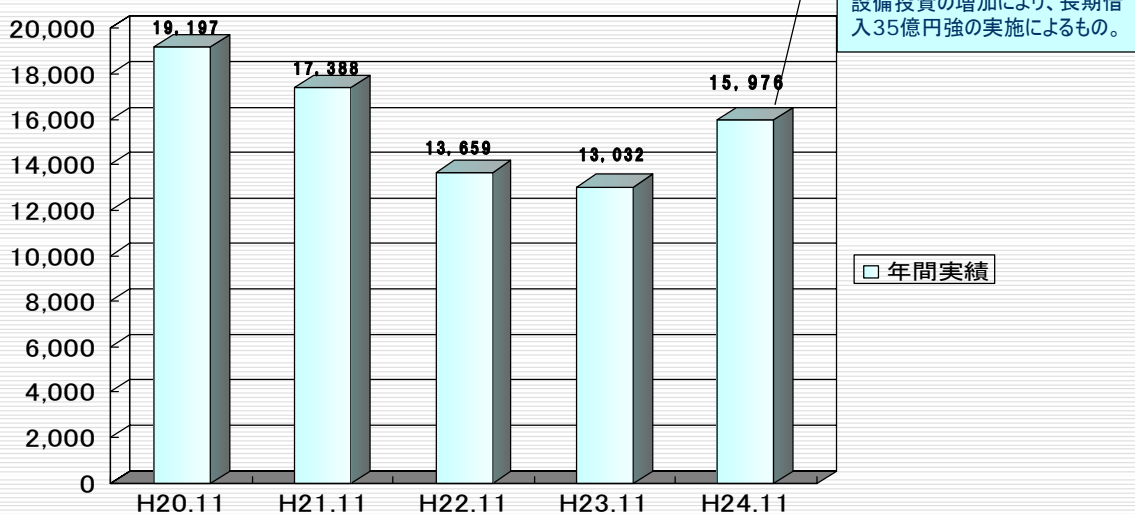
減価償却費の推移



当期の有形固定資産への投資実績の主なものは、介護施設や倉庫、繊維機械、資材機械等で約36億円。

## 15. 連結有利子負債の推移

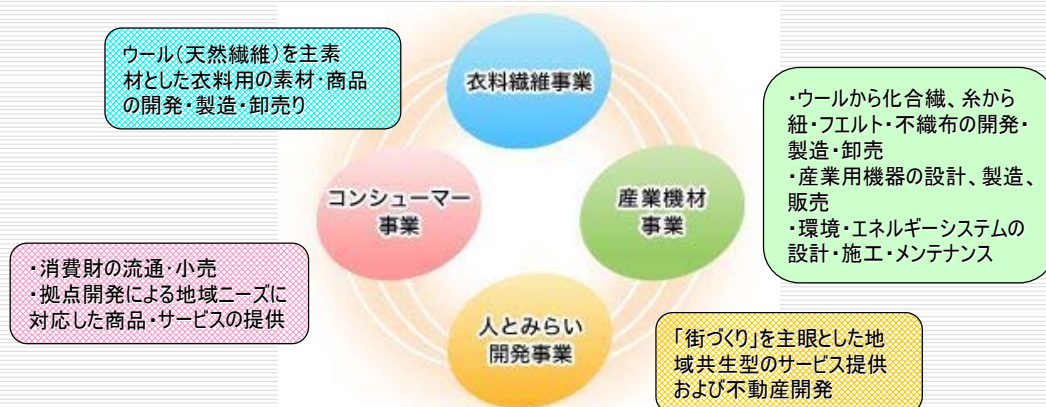
【単位:百万円】



## II. 第183期(2013年11月期)予想

### 16. 6事業部制から4事業部制への転換

「NN120第2次中期経営計画」をスタートさせるにあたり、経営の機動性・効率性を高め、グループ総合力の更なる向上を図るため、従来の6事業部制からシナジーをより発揮しやすい4事業部制へと事業運営体制を見直すこととしました。



**ニッケグループは経営理念・経営方針で統一された事業複合体と考え、さまざまな分野でお客様に満足頂ける商品やサービスを提供して参ります。**

## 主要なグループ会社について

### ●衣料繊維事業

(株)ナカヒロ(大阪市中央区)、アカツキ商事(株)(東京都墨田区)、佐藤産業(株)(東京都千代田区)、南海糸紡績(株)(大阪市中央区)大成毛織(株)(愛知県一宮市)、(株)中日毛織(愛知県一宮市)、尾州ウール(株)(愛知県一宮市)、艶金化学繊維(株)(岐阜県大垣市) 青島日毛織物有限公司(中国山東省)、江陰日毛紡績有限公司(中国江蘇省) 南海ニッケ・マレーシア、南海ニッケ・トレンガヌ 他

### ●産業機材事業

アンピック(株)(兵庫県姫路市)、(株)ゴーセン(大阪市中央区)、(株)ニッケ機械製作所(兵庫県加古川市)

### ●人とみらい開発事業

ニッケ不動産(株)(神戸市中央区)、(株)ニッケ・ケアサービス(兵庫県加古川市)、(株)ニッケインドアテニス(愛知県あま市)、(株)ニッケレジャーサービス(愛知県弥富市)、(株)ニッケ・アミューズメント(神戸市中央区)

### ●コンシューマー事業

ニッケ商事(株)(大阪市中央区)、双洋貿易(神戸市東灘区)、(株)ニッケ物流(愛知県一宮市)、(株)友栄(大阪府枚方市)、ニッケアウデオSAD(株)(神戸市中央区)、(株)ジーシーシー(大阪市中央区) 他

23

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指す 

## 17.次期連結業績予想

	2012.11期 実績 (単位:百万円)	2013.11期 予想 (単位:百万円)	増減
			(単位:百万円)
売上高	97,357	98,500	+1,143
営業利益	5,337	5,500	+163
経常利益	5,401	5,500	+99
当期純利益	3,261	3,000	▲261

- 売上高、営業利益、経常利益においては増収増益を予想も、当期純利益については衣料繊維事業における構造改善費用等の発生を織り込んだため、減益の見込み。
- 「衣料繊維事業」は原料高の緩和を見込み増収増益を予想しているが、円高が懸念材料に。
- 「産業機材事業」は自動車産業の減速からFA機器における車載品製造ラインが厳しくなると想定し減収減益と予想。
- 「人とみらい開発事業」はメガソーラー事業の立上げや稲沢市の再開発における大口の建築受注、新規介護事業所の開設等により増収を見込むが、新規投資費用の先行等により減益を予想。
- 「コンシューマー事業」は携帯電話販売や新規事業等が増収増益見込みも、ペット事業の撤退や災害用備蓄毛布の特需が一巡したこと等により全体では減収減益を予想。

24

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指す 

## 18.衣料繊維事業の次期予想と取組み

### 業績予想

売上高 43,000百万円  
営業利益 2,000百万円



### 第183期（2013年11月期）の取組み

#### ①グローバル生産販売体制の整備

新たに加わったマレーシアの製造2拠点を含めた国内外の生産体制を再構築し、グローバル適地適品生産体制を整備。総合的な技術力・企画開発力を駆使し、積極的な海外拡販を推進。

#### ②開発提案力の強化によるファッション素材の拡販

前期に一宮事業所内へ大成毛織を移転し、企画・開発・見本製造を一体化した。「企画・ファッションの世界への発信地」としてコア機能の更なる強化を図っていく。

#### ③小学生服市場の創造と販売拡大

小学生服市場に向けた徹底的なエリア攻勢を強め、新たな市場を創造する。公立小中一貫校及び私学校への点から面への拡大を図っていく。

25

## 19.産業機材事業の次期予想と取組み

### 業績予想

売上高 19,453百万円  
営業利益 600百万円



### 第183期（2013年11月期）の取組み

#### ①商品開発力の強化

資材事業とエンジニアリング事業の融合により、製造技術や商品開発力を結集し、最高の顧客価値の提供を目指す。

#### ②海外事業の積極展開

グループ各社一体となり、中国・ASEAN他への事業展開を加速させる。

#### ③新規事業の拡大

新たに立ち上げたソーラー事業・メンテナンス事業を軌道に乗せる。また、保有する経営資源を活かし、周辺事業を中心に積極的に事業展開を図る。

26

## 20. 人とみらい開発事業の次期予想と取組み

### 業績予想

売上高 17,544百万円  
営業利益 3,482百万円



### 第183期（2013年11月期）の取組み

#### ①太陽光発電による売電事業の拡大

土山メガソーラーなど「ニッケまちなか発電所」の拠点拡大に取り組む。太陽光発電については土地の有効活用施策として活用するほか、グループ施設の屋上への設置も積極的に推進する。

#### ②介護事業の積極展開

予防介護サービスから「認知症対応」を含む中重度介護サービスにわたる、複合的な介護サービスを拡充する。また「ニッケ介護村」を中心とした周辺地域へのサテライト施設の設置など、地域密着型の介護施設を積極的に展開していく。

27

## 21. コンシューマー事業の次期予想と取組み

### 業績予想

売上高 19,368百万円  
営業利益 550百万円



### 第183期（2013年11月期）の取組み

#### ①キッズランド事業の拡大

屋内型児童遊戯施設「ニッケピュアハートキッズランド」の新規出店による事業拡大を推進する。

#### ②通信事業の拡大

スマートフォン需要に対応して通信事業の新規出店による販売拡大を図る。店舗施策としては新規出店とあわせて、既存店舗のメガショップ化も図っていく。

#### ③新商品・新規事業の開発

「ニッチでリッチ」な分野において既存事業とのシナジー効果が見込まれる事業については、業務提携やM&Aなどを活用した事業拡大を推進する。

28

## 【ご参考】

		H24.11実績	H25.11予想	増減
衣料繊維事業	売上高	41,819	43,000	2.8%
	営業利益	1,665	2,000	20.1%
産業機材事業	売上高	20,363	19,453	-4.5%
	営業利益	652	600	-8.0%
人とみらい開発事業	売上高	14,365	17,544	22.1%
	営業利益	3,972	3,482	-12.3%
コンシューマー事業	売上高	20,810	19,368	-6.9%
	営業利益	603	550	-8.8%
本社等・調整額	売上高	—	-844	—
	営業利益	-1,555	-1,348	—
合計	売上高	97,357	98,521	1.2%
	営業利益	5,337	5,284	-1.0%

## 《ご注意》

本表は、当期実績を新事業(4事業)で暫定的に置き換えて表記したものです。  
 今期実績と来期計画との対比をわかりやすく示すため便宜上作成したものですので、数字の正確性等については何ら保証するものではありません。あくまでも“参考”としてご覧下さい。

## 22.NN120ビジョンの達成に向けて

事業運営体制をシナジー発揮や事業展開をより加速しやすい組織へと一部見直し、より収益性に重点を置き、持続的な成長・発展を目指す

- ◆創立120周年(2016年度)の節目に向けた羅針盤である2009年度よりスタートした「**ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)**」に基づき、ニッケグループの目指す方向性とあるべき企業像を明確化し、6つの事業分野で不断の改革と新規事業の開拓に挑戦し、成長発展を目指した。
  - 結果「**NN120第1次中期経営計画(2009～2011年)**」最終年度の2011年度には、リーマンショックにより落ち込んだ業績を、**連結売上高876億円、連結営業利益50億円**まで回復。
  - 前中期計画の実績を検証し次期中計の足掛かりとする期間と位置付けた2012年度(今期)は、**連結売上高973億円、連結営業利益53億円**となった。
- ◆一方、ニッケグループを取り巻く経営環境は変化のスピードを速め、不確実性がますます増大。
  - 第1次中期経営計画3カ年の実績を検証し「**NN120第2次中期経営計画(2013～2015年)**」を策定。新体制のもと、顧客価値の向上・創造やグループ総合力の一段の強化を図り、2015年度において**連結売上高1,000億円以上、連結営業利益70億円以上**を目指す。



- 部門共通の重点施策
  - ①組織再編の効果実現(融合による幅出し・深化)
  - ②グループ会社間の連携による総合力強化
  - ③低収益事業への対応
- 各事業の重点施策
  - ◆衣料繊維事業
    - ①グローバル生産販売体制の再構築
    - ②海外販売の拡大と収益向上
  - ◆産業機材事業
    - ①海外展開の推進による構造転換(既存事業・施設の抜本的な見直し)
    - ②新商品・新技術の開発力強化
  - ◆人とみらい開発事業
    - ①重点事業(介護・ソーラー他)への積極投資
    - ②「街づくり」による不動産開発の収益向上
  - ◆コンシューマー事業
    - ①生活流通事業の収益基盤確立と事業拡大
    - ②通信・新規サービス事業の積極出店



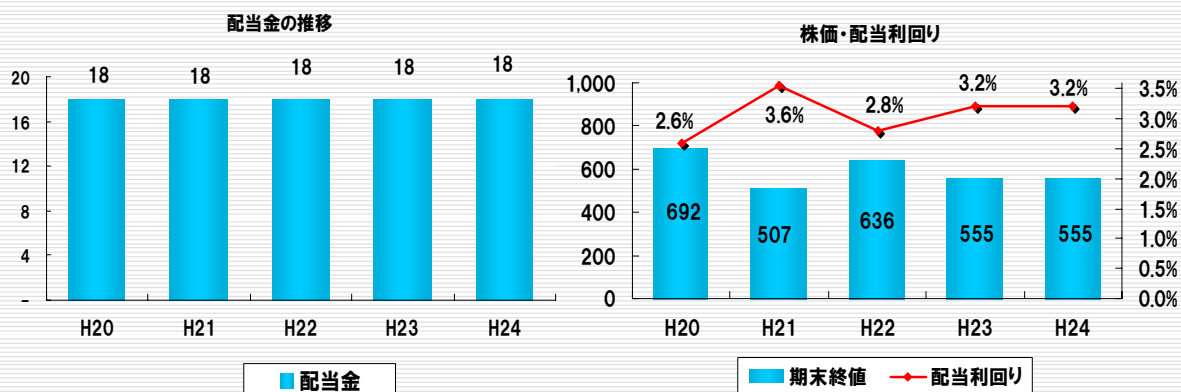
### Ⅲ. 株主還元方針



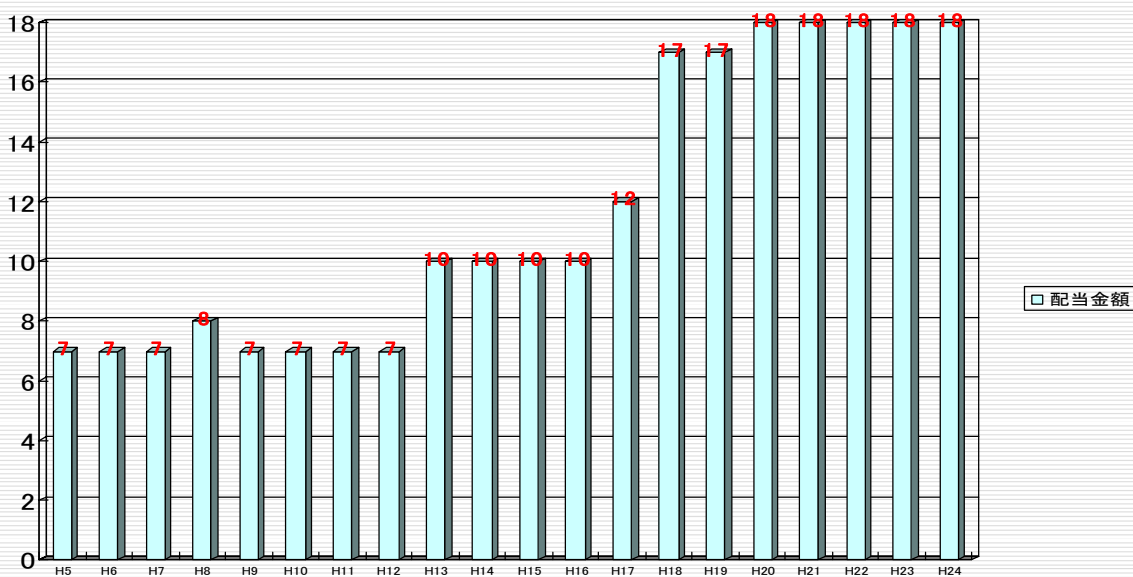
## 23.株主還元方針

利益水準に応じて持続的に配当水準を引き上げ

次期についても引き続き年間1株当たり18円を目標



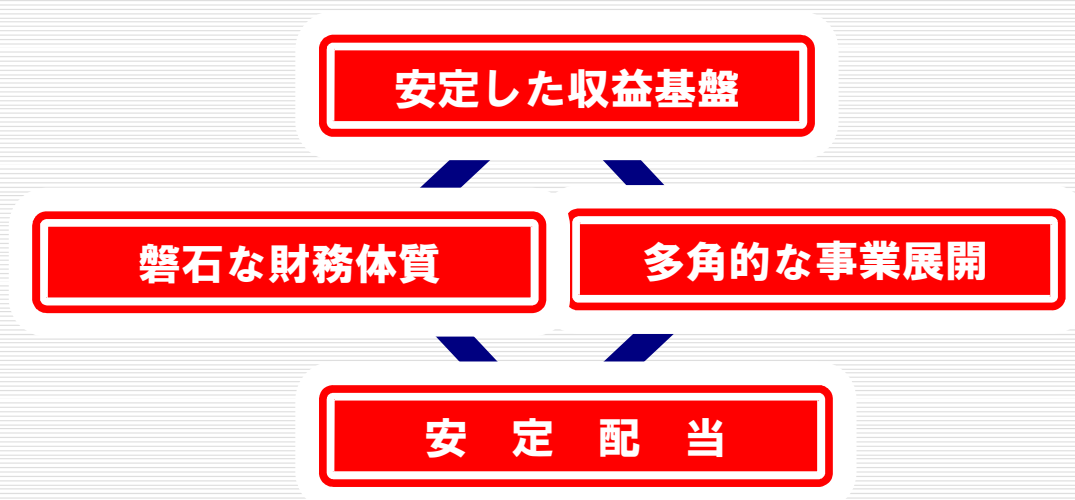
## 24.過去20年の配当額の推移



※平成8年は100周年記念配当により増配したもの

## IV. ニッケグループの強み

### 25. ニッケグループの魅力と強みについて



**●安定した収益基盤**

創業以来110年を超える中で培われたNIKKEブランドに裏打ちされた信頼性の高い衣料繊維事業、そして、保有地等を最大限に活用する不動産開発などによる安定した収益基盤を有しております。

**●多角的な事業展開**

長年の実績のある衣料繊維分野にとどまらず、ゴーイング・コンサーン(継続企業体)の観点に立ち、収益性の高い分野に対して積極的に切り込んでいくことで、既存事業における不断の改革と同時に、新規事業の開拓に引き続き挑戦していきます。4事業いずれも等しく将来の成長ポテンシャルを秘めた事業として捉えています。

**●盤石な財務体質**

高い自己資本比率と豊富な保有資産により健全な財務体質を維持しております。

**●安定配当**

株主の皆様に対する利益配分を重要な課題の一つとして捉えており、過去20年にわたり一度の減配実績もなく配当を実施してまいりました。これからも引き続き株主の皆様のご期待に応えるため、配当政策を検討してまいります。



ニッケグループの **facebook** がスタートしました。

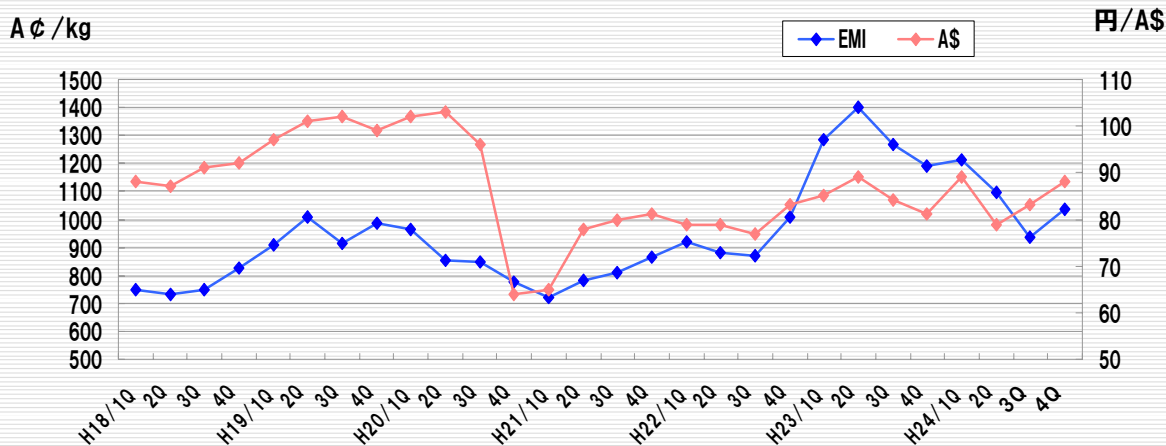
<http://www.facebook.com/nikke.group>



う~3un

●●●ニッケグループのさまざまな表情を発信していきます

**(参考) 羊毛相場・為替相場の推移**



- 豪ドル相場は欧州債務問題と中国景気の影響等を要因に不安定な推移。
- 羊毛相場は一昨年にEMIの年間平均がAU ¢ 1, 260まで高騰も、当期はその反動から買控えが生じ、年間平均のEMIはAU ¢ 1, 094まで下落。

「ウールのニッケ」から“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループ”へ



本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。



IRに関するお問い合わせは・・・  
 ニッケ(日本毛織株式会社)  
 経営戦略センター法務IR広報室  
 TEL 06-6205-6601  
 IRページ <http://www.nikke.co.jp/ir/index.html>